

戦略重点科学技術(8)

人の能力を補い 生活を支援する ユビキタスネットワーク利用技術

戦略重点科学技術(8) 人の能力を補い 生活を支援するユビキタスネットワーク利用技術

施策名: ユビキタス・プラットフォーム技術の研究開発【総務省】

平成21年度対象予算: 1,276百万円
(平成20年度対象予算: 1,500百万円)
実施期間: 平成20～22年度
(予算総額: 4,052百万円)

○ユビキタスネット社会の早期実現に向け、いつでもどこでも誰でも、その場の状況に応じた必要な情報通信サービスを簡単、便利に利用可能とするために必要な以下の技術の研究開発等を行う。

- ① ユビキタス端末技術
- ② ユビキタスサービスプラットフォーム技術
- ③ ユビキタス空間情報基盤技術

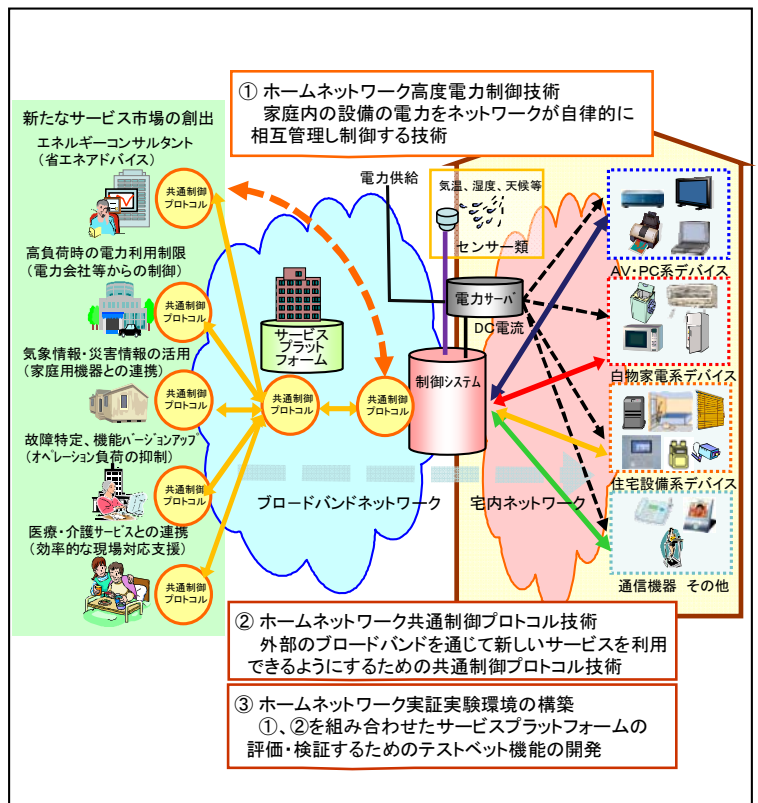


施策名： 消費エネルギー抑制ホームネットワーク技術の研究開発 【総務省】

平成21年度対象予算： 725百万円
(平成21年度新規)
実施期間： 平成21～23年度
(予算総額： 2,700百万円)

○温暖化ガス排出量の削減対策が進んでいない「家庭」を対象に、消費エネルギーを効果的に抑制するため、以下の技術の研究開発等を実施する。

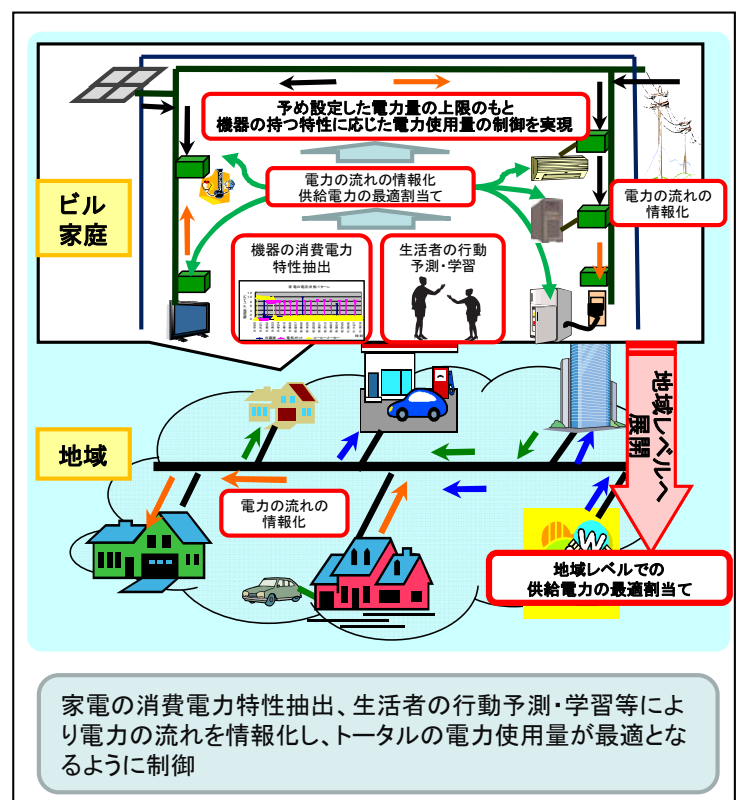
- ①ホームネットワーク高度電力制御技術
- ②ホームネットワーク共通制御プロトコル技術
- ③ホームネットワーク実証実験環境の構築



施策名： 情報通信・エネルギー統合技術の研究開発 【総務省】

平成21年度対象予算： 222百万円
(平成21年度新規)
実施期間： 平成21～25年度
(予算総額： 1,580百万円)

○ICTを活用し、家庭・オフィス・地域におけるCO₂の大幅な排出削減を実現するために、「電力の流れの情報化」と「供給電力の最適割当て」に基づく電力管理・制御技術の研究開発を実施する。本技術が実用化されることで、生活者の利便性を失わず、かつ生活者が意識することなく、しかも確実にCO₂排出削減を達成できる。



施策名: モビリティサポートの推進【国土交通省】

平成21年度対象予算: 104百万円
(平成21年度新規)

実施期間: 平成21~22年度
(予算総額: 208百万円)

○地域の様々な課題に対応するため、ユビキタス技術等を活用して、あらゆる歩行者が移動に関する情報を手に入れることができる環境を街づくりの中に構築するため、地方公共団体等が実施する先進的な取組をモデル事業として支援し、その成果を広く周知、提供するとともに、モビリティの向上に資する以下のサービスの検討を行う。

- ・災害に応じた、適切な避難所までの安全な経路案内
- ・公共交通機関のリアルタイムな運行・遅延情報の提供
- ・観光地や大規模集客施設等におけるサービス導入のガイドライン作成

